

平成27年度 第1回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／平成27年4月21日（火）午後2時00分～午後5時00分

2. 場 所／平田総合支所 302号室

3. 出席者／（1）1号委員（団体推薦委員）

岩間政幸委員、阿彦健委員、菅原長昭委員、長谷部信勝委員、後藤純委員、
久松司委員、長谷部耕次委員（新会長）、池田知子委員、佐藤みさ子委員、
阿曾彰委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計10名

（2）2号委員（識見委員）

阿部重敏委員、石黒由香委員（新副会長）、高橋栄子委員、佐藤鐵喜委員
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 4名

（3）3号委員（公募委員）

藤原幸雄委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 1名

（4）酒田市

酒田市役所	本間正巳酒田市長、永田斉地域振興調整監、
平田総合支所	阿部亨支所長兼地域振興課長、佐藤栄一建設産業課長、
地域振興課	富樫好課長補佐、太田英一地域振興係主任・・計 6名

出席者合計21名

4. 欠席届／欠席者合計 0名

5. 次 第／・市民憲章唱和

・開会前

（1）委嘱状交付

・平田地域協議会

（1）開会

（2）酒田市長あいさつ

（3）委員・職員自己紹介

（4）地域協議会について

（5）会長・副会長の互選

（6）会長・副会長あいさつ

（7）会議録署名委員の選任

(8) 報告

- ① 平成26年度 市長への報告内容について
- ② 平成27年度 平田地域関連予算について
- ③ 平成26年度 コミュニティ振興会の事業実施状況について

(9) 協議

- ① 平田地域協議会の開催予定について
- ② 地域課題について

(10) 閉会

6. 会議録 / (1) 開会

▶阿部支所長兼地域振興課長

これより平成27年度第一回平田地域協議会を始めたいと思います。
初めに、本間市長から市長あいさつがございます。
よろしくをお願いします。

(2) 酒田市長あいさつ

▶本間酒田市長

日頃から、皆さんには大変お世話になっております。

この度は、平田の地域協議会の委員の委嘱をお願いしたところ、快くお引き受けをいただきまして、心から御礼を申し上げたいと思います。
合併してから、10年になりました。

合併当時はいろいろと住民の方にも不安があったことと思います。

しかし、地域協議会の委員の皆さんが、銘々、銘々に住民の皆さんの意見を吸い上げて、運営に反映をさせていただいた結果、大きなトラブルも無く10年間を過ごす事が出来ました。

皆さんには、これから2年間、また委員をお願いしますけれども、途中皆さまに行政全体の、酒田を発展させるために様々にお知恵を拝借したいと思います。

是非、良い方向に進むように皆さんのお力添えを賜る事をお願い申しあげまして、簡単ですけれど、挨拶にさせていただきます。

本日はまことに、ありがとうございます。

▶阿部支所長兼地域振興課長

ありがとうございました。

それでは、委員、職員の自己紹介という事で始めさせていただきたいと思っておりますけれども、名簿の順番で銘々に自己紹介という事でお願いしたいと思います。

(3) 委員・職員挨拶

▶委員および職員自己紹介

— 市長退席 —

(4) 地域協議会について

▶地域振興課長補佐（資料に沿って説明）

▶阿部支所長兼地域振興課長

いまの説明に関して、何か聞いてみたい事とか不明な点など、ありませんでしょうか。

▶長谷部（耕）委員

総合支所地域づくり予算の中の2番の地域内観光イベント経費ということが載っていますけれども、この観光という言葉を使った場合、いま現状の旧三町の観光組織と言うのは、いかなる状況で推移しているのか。まあ、これはここで特別それをという事ではなく、長いこれからのスパンの中で、これは当然議題として出て来る問題であるし、出さなければならない問題でもありますので、そこら辺の基本的な考えはどうなっているのか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

地域内観光イベントと言う事での話になりますけれど、観光のイベントについては後で出て来ますけれども、いろいろなイベントの事業が予定はされております。

それから、いろんな観光施設の関係では、直接、平田総合支所には予算を持っておりませんので、観光振興課と相談しながら、予算化に向けて話をして、工事が必要であれば工事の実施をして行く、と、仕組みとしてはそのようになっております。

一つ一つ詳しくはお話ししませんが、状況としてはそんな状況で、これは三総合支所とも同じでございます。

▶長谷部（耕）委員

それでは参考までに、我々商工会、ふれあい商工会というのは旧三町のなかで、どういう事業をしてどのくらい地域活性に貢献しているのか、というのを行政はどこまで把握しているのか、把握無しで議論の課題にはならないと思うので、これはやっておりますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

市の事業のほとんどが、成果報告と言う形で、目標とする数値、例えば集客であるとか、それぞれの事業で目標が違う訳ですけども、そういうものを立てて、それに対してどの程度の達成率になっているかと言う事では、事業ごとに評価しております。

▶長谷部（耕）委員

それは各事業、事業でその地域に合った行動をしている訳ですけども、簡単な言い方をすれば、三町の経済団体の年間行事行動として参加をされる住民イコール組織、トータル人数が13,900人という人間が関わって、この地域の経済行動に、催し物を盛り上げているわけですけども、我々経済団体がいま現在置かれているのは、ここの本所、八幡支所、松山支所、というのが存在していますけれど、将来はこの支所を無くするという連合会の基本方針があるので、これをどうか理解していくのは、これは行政と地域経済をかけ離れているものではないと、一体として、我々は議論していかなければならないと思いますので、いまここで、課題としてこれを直すというのは、ありませんけれども予告として皆さんに認識してもらえればと、そんなふうに思っています。

▶阿部支所長兼地域振興課長

その他に何か。

▶佐藤（鐵）委員

平田地域での観光と言えば、ですよ、十二滝もあれば経ヶ蔵山もある、岩間さんの胎蔵山口マン会がいろいろ地域イベントをしている胎蔵山があると。

経ヶ蔵山の場合は、山登りを山形県内でしている人からすれば、一番早く花が咲くと言う事で、これから一年間、山の季節に入ったなということ、この一番に来る場所なのです。

ですから、岩手、秋田、宮城、そういうナンバーがいつもある。

それで、平田町時代にかなり、お金をかけて登山道を整備した訳ですけども、もうそれっきりどんどん荒れているということで、さっき支所長が言ったように、自分たちは予算を持っていないのだと、そういう事でしたけれども、やはり今年も7校ほど、実際に山に登るのは6校ですか、小学校3年生、4年生が対象な訳ですけども、我々は60人近い生徒をあの山に登らせて下らせるというのは本当に、降りて来た時には寿命が縮まる思いです。

ですから、毎年、このあいだ13日の日に下見をしましたが、たまたま工事をする業者が来なかったというような事で、どうなるか分かりませんが、やはり少しずつ補修、手入れをして行かないと、完全に登山道がダメになると、そういう状況があるという事だけ、ひとつ頭に入れていただいて、頑張ってもらいたいと思います。

(5) 会長・副会長互選

▶阿部支所長兼地域振興課長

はい。

よろしいでしょうか、次に進ませていただきます。

会長、副会長の互選と言う事で進めさせていただきたいと思っておりますけれども、資料の4ページ、先ほど説明もあつたのですけれども、4ページの設置条例の中で第5条として、協議会の会長および副会長を置く。

2、会長及び副会長は委員の互選によって定める。

6条の方には会議も会長が招集して、会長が会議の議長となるということで、記載されております。

ここであの、新しい任期ですので、会長と副会長の選出をしなければなりませんので、選出の方法として、どのように、立候補なり、誰か推薦をするとか、何もしないで皆さんから投票してもらおうとか、様々な方法がある訳ですけど、どのようにしたらよろしいでしょうか。

▶阿部（重）委員

はい、私から推薦したいと思っておりますけれども、経験豊富な長谷部耕次委員を推薦したいと思います、会長に。

副会長については、その後決めてもらえればありがたいなと思います。

▶阿部支所長兼地域振興課長

ただ今、推薦と言う形でお名前を上げて頂きました。

その他、ご意見ございませんでしょうか。

無いようですので、長谷部耕次さん推薦されましたけれども、それではよろしいでしょうか。

▶委員一同（拍手）

▶阿部支所長兼地域振興課長

それでは、会長を長谷部耕次さんをお願いしたいと思います。

続いて、副会長の方も決めないといけない訳ですけども、副会長はどのように取り計らうのがよろしいでしょうか。

▶佐藤（鐵）委員

いま声を出した阿部重敏さんなんか、良いのではないですか。

▶阿部（重）委員

良いですけども、いままでの経緯から行くと、男性、女性と言う事で、出していた経過があるのでですけども。

▶阿部支所長兼地域振興課長

経緯はありますが、必ずしもそういった事で男性、女性の組み合わせで無ければならないというのはない、という決まりはありません。

▶長谷部（耕）委員

女性登用率30%という目標があるのだから、考えないといけないのではないですか。

▶佐藤（鐵）委員

では、会長から指名していただくのはいかがですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

会長から指名していただくと言う方法でよろしいですか。

▶一同（賛成の声）

▶長谷部（耕）委員

それでは、皆さんに了解いただけるのであれば。

やはりこういう組織という物は長い時間かけて、様々な環境で議論しておりますので、そういう環境が生まれたとき、どういう対処の仕方というのがあったかというのを考えれば、皆さんの意見にそれなりの立場で、それなりの意見で応えなければなりませんので。

新人の方々がダメという訳ではありません、皆それぞれ、識見とかそういう経験をされてきた方々ですけど、この協議会、そのものに限定した場合には、中身のある程度理解をしている方、というふうに私は考えますけれども、そういう観点で、私が選択してよろしいですか。

▶一同（会長一任の声）

▶長谷部（耕）委員

はい、それでは石黒さん、由香さん、お願いします。

▶阿部支所長兼地域振興課長

指名と言う事ですので、それで、皆さん、よろしくお願いします。

▶一同（拍手）

▶阿部支所長兼地域振興課長

ありがとうございます。

それでは、会長、副会長席が、前の方にございますので、会長、副会長は移動をお願いします。

▶会長、副会長（座席移動）

(6) 会長・副会長あいさつ

▶阿部支所長兼地域振興課長

それでは、会長、副会長からご挨拶いただきまして、その後は会長の方から議長となって頂きますので、よろしくお願ひいたします。

▶長谷部会長

みなさん、改めましてこんにちは。

改めまして、皆さんから推薦を頂いて、会長職と言う職務になりました、精いっぱい邁進して参りたいと思います。

継続の委員の方々には既にご承知な訳ですけれども、前回まで会長を務めました富樫文雄さんは、相当広範囲な意見とか様々な努力をして、皆さんにその参考意見を求めておりました。

これは、会長職としてやるべき事に変わりはない訳ですけれども、ただ、私が今、この立場に置かれて、皆さんに改めて申し上げたいのは、この協議会の規約、条文、こういう物がここに明記されている訳ですけれども、例えば、協議会設置条例と言う物、前までは第一条に何が載っていたかという事は、いまの三条、これが筆頭に來ているのです。

これはどういう事かと言うと、市長の諮問に答えると言うのを最重要課題として上げておりました。

ところが今回からは、地域住民と行政との連携と協働を推進する事により、コミュニティ組織の育成強化を図るため、と言う事で、いかに我々の日常生活の地域のありように於いて議論をして行くのかという事がここに出てきておりますので、市長の諮問というのは市長の考えで出て來ます。

これにも我々は地域を見通した、適正な判断をもって市長の諮問に答える責任があります。

でも、それ以前にいま出た問題があると言うことは、いかに我々の置かれた責務が重要であるかということ、今後のこの地域の発展には大いに影響するものだと思います。

いま言われている事としては少子高齢化、これがどこに行っても皆さんが耳にする、目にする、マスコミの取り上げている事だと思います。

そうしたなかで、いま政府はふるさと創生という大臣まで設けて、取り組んでおります。

これが何かと言うと、地域、人、この物を産業と含めてどう展開しているか、東京一極集中を是正するために地方の活力をつくるのだということがなっておりますので、こうなると、いまの石破大臣は何を言っているかと言うと、地方から上がって來たものには大いに検討しますよ、と。

上がってこないのは、意識が無いのだと言う解釈で、そんなに目を向ける意識はあの大臣には無いようです。

ですから、いかに我々が地方創生と言うものを根本的に理解し、自らの場所を、自ら考えてし、自ら行動するという原点に立ち返って、この地域協議会を運営していきたいと思っておりますので、例えばまあ、地域コミュニティ振興会の5人の委員の方々もおります。

それから、組織代表の方々、それなりの認定農業者であるとか、私のように経済団体であるとか、前には学校PTA、それに福祉、そういうものを代表している委員の方とか、様々な方を、この参画を頂いたというのは、そういう分野の意見を聴取し、その団体のありようを議論してフィードバックするという観点から、委員の構成を多少、何年か前に変更した経緯があります。

そういうところを踏まえて、どうかこれからの協議会には各々の立場と各々の地域から意見をこの会議に持ち寄ってください。

そして、全部がそのうちで議論できるかどうかは分かりませんが、その議論になった経緯は必ず持ち帰って、報告をしてください。

そうする事により、次の協議の資料、資源と言う形で表れて来ると思っておりますので、これだけを私は今回この場でお願いをして、挨拶に代えず、以上、ありがとうございました。

▶石黒副会長

改めまして、楯山の石黒と申します。

継続と書いてあるので、二期目かと思いきや、三期目になります。

ここ4年間、地域協議会に参加させていただいて来ました。

いま、会長さんも言われましたが、言っても駄目だろう、ではなく、日々皆さん、生活、一杯いっぱいだとは思いますが、ちょっとの心がけで、やっぱり小さい不満だったり、苦悩だったりを拾ってきていただいて、ここで協議し、少しでも良いまちづくりに繋げて行きたいと思っておりますので、会長を助けながら頑張りたいと思っておりますので、微力ですがどうぞよろしくお願いします。

▶阿部支所長兼地域振興課長

ありがとうございました。

それでは、ここからは会長に進行をお願いいたします。

(7) 議事録署名委員の選任

▶長谷部会長

それでは次第にありますとおり、会議録署名人の選任に入ります。事務局。

▶阿部支所長兼地域振興課長

これまでも同様に進めて来たのですが、会議録署名人については、名簿の順番で、一回目から順番に当てさせていただくと言う形でさせていただいてもよろしいでしょうか。

▶長谷部会長

いまの事務局の説明によりますと、会議録署名人については名簿に記載があります順番通りで、岩間さんよろしくをお願いいたします。

▶岩間委員

はい。

▶長谷部会長

それでは次に入ります。

報告事項、平成26年度 市長への報告の内容について。

資料7番、事務局お願いします。

(8) 地域協議会について

① 平成26年度 市長への報告内容について

▶富樫地域振興課課長補佐（資料に沿って説明）

▶長谷部会長

ただいま、事務局の方の説明にありました、この11ページまでの内容について皆さんから何かご意見ございましたら、お伺いしたいと思います。

これは先の提出済みのことなので、前の継続の方々は多少、記憶にあるのかなと思います。

新しい、今日から委員として出てこられた皆さんも、地域の事を考えれば大体の方向性は見えるのではないかなと思いますので、何か意見ありましたら、お聞かせください。

▶佐藤（鐵）委員

2のひらた生涯学習センターの機能を活かすという件について、私が発言するところ、NPOを代表して発言するように聞こえるかも知れませんが、実際自分たちが取り組んでいるという事で、お聞きいただきたいと、そのように思います。

まず、昨年度と去年度の、ひらた生涯学習センターの宿泊者数。

数字はちょっと私、書類持って来ていませんので分かりませんが、かなりの、30%近く増えているはずで。

と言う事は、一昨年は自然体験学習、南平田、地元の小学校だけでしたけれども、昨年は6校宿泊をしているということですから、だいたい平均すれば45名かそこらの生徒がおりますので、そこに2日間、2泊する訳ですけども、そういうことで増えているというふうに思います。

ただ、残念ながら老朽化が進んで、使い勝手が悪いということで、我々も業務委託を受けていますけれども、なかなか大変だなと言うふうに経験をしております。

自然体験インストラクターの関係については、これは地域協議会で議論をされているという事を初めて私は知りました。

里山の会としては独自として、県民の森づくりアドバイザーの白壁洋子さん、この人も大変に植生に詳しい方でして、もう一人は鮭川で活動をしている矢口さん、これはNHKの方にしょっちゅう出ている方です。

その2名の方を年間2回から3回ほど呼んで、里山の会として、里山の自然体験学習を指導する立場で、インストラクターの養成を行っております。

ただ、いま企業の中でも65歳という再雇用制度が当たり前になってきておまして、なかなか60歳で定年してこういう活動に参加しようという人がいないということで、我々の会の指導者も高齢化が進んでいると、いうこともありまして、ただ、地域協議会でこのような事が議論されているという事が大変良い事だなと感じました。

▶阿彦委員

いま、生涯学習センターの予算があった件に関連する話について、コミ振の方から話があったのですけれども、宿泊施設があるわけですけれども、調理室ですね、生涯学習センターの。

調理室はそれが出来る前からの設備、内容、それから老朽化が進んでいるというような訳ですけれども、多人数で合宿とかそういった利用がある時に、非常に使い勝手が悪いという意見も出ておりました、出来れば改築、改装、設備の一新等を考えてもらえないかという意見が出てきております。

▶佐藤（鐵）委員

関連して。

確かに建物そのものを建て替えると言う事は難しいと思います。

ましてや増築をするというのはとても難しいのではないかな、と。

ただ、あの中を見ますと、シンクなり、ガス台なり、それからいま使っていませんが、カウンターのようなものがありまして、あの辺を綺麗に改築をすれば十分、いや、十分とは言いませんが、まあ何とか対応できるのではないかなと、そういうふうに思いますけれども、改築は早急にやってもらった方が良くと思います。

子どもたちの体験学習は大概外でご飯を作りますけれども、学校によっては体育館で食事をするという事であれば、中野俣を元気にする会の皆さんが、あそこの調理室で60名分くらいの食事を作るというのは本当に、私も見ていて大変だなというふうに思います。

▶長谷部会長

いまのお二方の意見を踏まえて、事務局では何か意見ございますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

意見と言いますか、予算が必要な事だと思しますので、予算要求に向けて社会教育課の方にお話しをして行くというふうにしたいと思っております。

▶長谷部会長

他にどなたか、この6番までの項目、いままで市長に意見を求めたものがありますけれども、いまは2番の生涯学習センターについての分が、意見がありました。

他の項目について何かございますか。

▶岩間委員

ちょっとよろしいですか。

これは今、市長に報告した内容についての報告と言いますか、ですので、これに対して我々が意見を述べて、新たな意見を添付してもよろしいという事ですか。

これは、報告した物に対して、一応、一つの物として決めて、新たにこれに付随した意見として求めて行った方がよろしいのではないかと思います。

私も意見はありますけれども、ただ、これに対しての質問ですから、飛躍しすぎていないかなと感じるといえるか、進み過ぎてないかという感じがするのですけれども、そこら辺の整理をお願いします。

▶長谷部会長

それでは、これは事務局の方は、市の方の基本的な財政事情とか、組織の運営事情とか、様々あるのでなかなか意見は出てこないと思いますけれども、私ども何年間の中で、この6項目を市に提案をしました。

でも、完全に実行されたものというのは、まだ無いのですね。

こういう形で、文書ではいつでも出て来るのです。

それで前日も、私、富樫会長の時に話をしたのだけれども、年間やっけて行く事に、次から次へと新しい物だけを繰り返すのではなく、我々が項目の優先順位を付けて、どれを優先的に、答えを貰うか。

実態に即した行動に改めようではないかということで、前の会長には意見を述べた事があるのです。

私ね、これが一つの課題だと思うのですよ。

議論していくとね、様々、いっぱい出て来ます、あそこも、ここも。

でも、その完全なる結果は得ていないのです。

ですから、ただ議論して、総花的に文書を作るのではなく、やはり6項目出ているのであれば、どれを完全に実施して貰うか、この優先順位も我々協議会で、議論すべきだと思います。

まあ、これは皆さんの総意が無いと出来ません。

これをどういうふうに分作るのか、という事でもあるのだと思います。これは私、いまこの席の立場として、皆さんにお願いしたい部分はそこところもあります。

他に無いとすれば、次に移りますけれども、どうしますか、これはただ単に、このまま問いかけだけにしますか。

▶岩間委員

ですから、これに付随した、また新たな要求、様々な意見は、これを決めて置いて、また新たな拾い上げがあってもよろしいのではないのでしょうか。

これはこれで決めておいてですね、報告に対する意見や質問でしょ。

一応、決まったことですよ。

▶阿部（重）

良いですか、会長。

もうすでに報告している内容なわけです、これは。

なので、新たなものについてはまた、協議の中でいろいろな問題を協議したら良いのではないかと思います。

▶長谷部会長

いま、阿部さんの言った新たな問題というのは、これから協議で出て来る訳ですから、それはそれで否定するものではありません。

でも、前の物について何も答えを貰っていないのですよ。

このあいだ、田沢小学校の耐震については、初めて文書で我々に入ってきたけれども、やはりそういう物はきちっとした対応を取って頂かないと、何となく言いつばなし聞きつばなし、向こうも言いつばなしみたいなものでは、この協議会の意味がなしていかないと私は思いますので。

▶阿彦（健）委員

ひとつ基本的な事をうかがってもよろしいですか。

この協議状況と言うのを、3月26日に市長に報告と言う事であるのですけれど、1回目、2回目、3回目と行われている内容と言うのは、その都度、市長に報告と言うのは無いのですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

市長に報告と言う事で一回一回は出ていないのですけれど、要約での会議録はホームページ上にどの支所のものも上がっています。

また、皆様にはお配りをしておりますけれども、作る時には皆さまにもご協力をいただくのですけれども、会議録としてホームページ上にアップしているという状態です。

▶阿彦（健）委員

去年までの状況はよく分からないのですけれど、いま、6項目ここにある訳ですけれど、これは一年間かけて平田として、こうしようという事で6項目なのですか、それともその都度、例えば1回目は1番の議題があったとか。当然、跨るものもあるとはあると思うのですけれども、そういう形で決定、提案していくものなのですか。

▶長谷部会長

それはちょっとあれですか合併入っていないから、何か今言われたように一遍に出て来たような印象を受けるけれども、結構年数がかかっているのだよね。

▶阿部支所長兼地域振興課長

年数と言うか、一年間のまとめとしてこれだけの提案をしようという事で決めて年度末に、各地区の協議会の会長、副会長が市長に直接、文書も手渡して来ましたが、お話しをしてきたという事です。

▶阿彦（健）委員

まあ、前回まとめてこういうような話になった訳ですけれど、その都度協議会が開催されたときに、例えばこの会で結論が出る事もあるわけですから、議案とか。

それはその都度、関連の部署に結果としてすぐ上がって行って、それに対する対応と言うのはとられる、とる事が出来る。

▶阿部支所長兼地域振興課長

新しく予算の裏付けが無いものなどは、次の予算要求の時までに伝えて、予算がつくようお願いをして行くようになるわけですし、そんなにお金もかからなくて、体制だけ変えれば出来るとか、そういうものであれば対応出来るということです。

▶阿彦（健）委員

それは当然、そういう対応、例えばこういう部署に話が上がって行って、検討した結果こういうふうになった、というのは随時、会議の時にご返事いただけるという事で良い訳ですよ。

▶長谷部会長

ほかにございませんか。

▶岩間委員

要するに、ここで問題なのは、これを何回も何年もこうやって上がっている、ところが色良い返答が来ない、そこに問題がある訳で、これについて強く、市当局へ要望していく。本当に頼むと。

それについて返答がなければ、さらに強く色良い返答を頼むということをやっているべきなのかなと私は思いますけれども、ここに対して質問、意見があるとしたらこれしか言えないので、この意見に対して私はこれで行くしかないと思います。

▶長谷部会長

藤原委員、何かありましたね。

▶藤原委員

先ほど、岩間委員がおっしゃったようなこと、同じことを申したかったのです。

あと、これに付随する様々の課題とか提案については、別の事になってくるのではないかなと思います。

やっぱりあくまでもこの場では報告事項でございますので。

▶長谷部会長

参考までですけど、この生涯学習センターは何年か、結構続いているのですよ。

それでやっぱり、年間のトータルに入ってくるという事なのです、これは正直言ってそうなのです、田沢小学校だって、ただ去年一年間で起きてここまで来たということではなく、その前からなっているのです。

ですから、場合によっては一年間の総締めくくりとは言えますけれども、内容は何年も継続している内容も中にはあります。

ですから、そう長く継続していても何の意味も無いので、少しは答えを貰える手法、手段に変えて行かなければならないのかなと考えていましたので、私とその意見を出させてもらいました。

この件については、皆さんから様々な意見が出て来るかと思えます。

そしてまた、今回から始まる一年間においても皆さまからそういう様々な意見がありましたら、これを皆さんと吸い上げて形にまとめてこの年間の要望の形に入っていく、そういう形になるかと思えます。

では、26年度の市長への報告についてはこの辺で一旦締めますのでよろしいですか。

▶一同（了解した旨の声）

▶長谷部会長

2番の平成27年度 平田地域関連予算について、説明をお願いします。

① 平成27年度 平田地域関連予算について

▶阿部平田支所長兼地域振興課長（資料に沿って説明）

▶佐藤建設産業課長（資料に沿って説明）

▶長谷部会長

いま、執行部の方から説明いただいた件についての皆さんのご意見を伺いたいと思いますが、10分ほど休憩いたしましょうか。

3時50分に再開の目処で休憩します。

－ 一同休憩 －

▶長谷部会長

それでは再開します。

いままで説明頂いた内容に、特に旧平田町に関連する項目についての皆さんの意見がございましたら、頂きたいと思います。

▶佐藤（鐵）委員

建設産業課長に伺いたいのですが、十二滝のアラソウの法面の工事、去年終了した訳ですが、今年はその部分の土留めの工事が入ると、そういうふうに建設業者から聞いておりますけれども、なぜそのような事を申したかと言いますと、6月から9月と言うのはちょうど体験学習をやっている期間中なのです。

そういう事で、去年は歩行者の部分は通行止めになりませんでした、今年もぜひそういう形でお願いします。

それともう一つは、また里山の会で恐縮ですが、十二滝のトイレ清掃。

私ども、市の方からの委託を受けてやっているので、手前の方は水道、十分有りますからいいのですが、上の方のトイレは水が無いのですよ、ちょうど水が枯れまして。

すると、どうしても下からポリタンクに入れて水を運ばないと清掃出来ない。

それがとてもじゃないけれど、20リッター缶を持って歩く訳行かないですよ、通行止めになりますから、茶屋から。

要望としては是非、許可証、通行許可証を出してもらいたいなど。

▶佐藤建設産業課長

それは工事期間中。

▶佐藤（鐵）委員

工事期間中。

あとは茶屋のあそこで全部通行止めになりますから。

ただ、あの、工事車両はどんどん入って行きます。

だから、その清掃に関して週一回ありますけど、出来れば通行許可証をいただければな、と思います。

▶佐藤建設産業課長

今年度、私もこのあいだ見に行きましたけれども、今年度も引き続きという事で認識しております。

去年は歩行者の通行止めは無かったという事ですので、そのへんは土木課の方にそういうかたちでお話しがあったという事と、そうしていただきたいというお話はお伝えしたいと思います。

あと、許可証の問題はここでは今何とも言えませんが、今のようないトイレ清掃をお願いしているものもありますので、何らかの形でそうできないかと言う事でこちらの方も向こうの方にお話しするなどさせていただきたいと思います。

- ▶長谷部会長
それよろしいですか。(佐藤鐵喜委員、了承)
他にありますか。
- ▶岩間委員
一つよろしいですか。
単純な質問ですが、26ページの4の2。
田沢小学校耐震診断業務委託料。
事業概要に入っている診断料、これはどういう分け方なのですか、この4,860千円。
- ▶阿部支所長兼地域振興課長
※印が付いているのは市の予算額の総額で、昨年度からの繰り越しの事業になっていて7月までと言う事で聞いていますけれども、4,860千円というのは入札の結果の金額と言う事です。
- ▶岩間委員
わかりました、ではこの6,670千円というのは酒田市全体での額と言う事ですね。
つまり、6,670千円だったけれど、4,860千円で収まったという事ですね。
- ▶阿部支所長兼地域振興課長
そういう事です。
これから加算になるかも知れませんが、今のところは。
- ▶長谷部会長
その他にありませんか。
- ▶富樫地域振興課課長補佐(資料に沿って説明)
はい、資料27頁の資料9から、28、29、30、31まで、各コミセンの26年度の事業実施状況が載っております
月日を追って活動内容載っておりますけれども、ぜひコミセンからの推薦で出て来ていただいた委員の方々から特徴的な部分をご紹介いただいて、活動自体はご覧いただくと分かると思いますので、そのようなご意見をいただければありがたいと思います。
- ▶長谷部会長
はい、それでは執行部の方から、この書面においてはトータル的な部分を出しておりますけれども、このコミュニティ振興会のなかで、うちがこれが特徴的な部分だというものがございましたら、各々の担当区域の方々から説明をお願いします。
田沢の方から。
順次、ありましたらご説明をお願いします。
- ▶岩間委員
特徴的というとなかなか難しいのですが、まずメインとなるものは敬老会、これはどこでも同じですね。
後は夏祭り、山元地区の夏祭りなどもあります。

それと、大勢集まるのは文化祭がありますね。
これらをメインとしてやっております。
その他に文化部等々が活動をしていますし、農政部なども交流人口を増やそうという事でいろいろやっています。
例えば、体験そば打ち。
当地区では、地域をそば打ち名人で埋め尽くそうという形で力を入れてやっています。
地域の教育力向上事業ということで、わら細工教室などもやっております、こちらもだいぶ頑張っております。

▶阿彦委員

東陽コミ振の方ですけれども、大きな特徴的なものとしては、4月20日、これは今年度すでに実施されましたが、コミ振としては共催という形でやっています、経ヶ蔵ツアー。

一般の方が50名、スタッフが30名、計80名の参加で開催されたそうです。

内訳を見ましても、山形や新庄といった方から参加いただいているという事で、また、リピーターの方が非常に多いという事で、待ち焦がれて参加されているというような状況であったそうですし、初めての方も15名ほどということで、アピールするには良い機会になっているのかなと思います。

それから8月の川祭りや11月の東陽コミ振のふるさと祭りと言う形で、地域内だけではなく地域外の方にもアピールをして、当地区の良さを知って頂くような行事に多数参加いただいているということでした。

例年行われてきた9月の炎と音楽の祭典については、高畑山村広場の工事の関係で行わないとのことでした。

それから、事業という事ではないのですが、旧東陽小学校跡地利用ということで、地域のボランティアスタッフたちを中心に草刈りなどをして、運動会を行っております。

運動会だけでなく、南平田小学校の子どもたちも栗拾いとか、水辺の楽校の帰りに立ち寄るといったこともありますので、そういった面でも使いやすいような形でしておりますし、そういった点で考慮いただければ、と思います。

▶菅原（長）委員

郡鏡・山谷コミュニティです。

まずは5月の防災訓練ですね。

これは郡鏡と山谷、別々に行っております。

それから6月に軽スポーツ大会。

7月の26日に水生生物生態調査ということで、次の日の27日には水の旅ということで、子どもたちに川で魚のつかみ取りなどをさせています。

9月の敬老会は郡鏡地区と山谷地区で別々に行っております。

それと、7月の7日、これも毎年行っていますけれど、そば打ち交流会という事でやっています。

それから1月23日、わら工房の講習会をやっています。

あとは2月の文化祭。

主なところはこのようになっております。

▶長谷部（信）委員

南平田コミュニティ振興会は飛鳥と楯橋の2つの自治会からなる大きな振興会ですけれども、年間の主な行事としては6月に運動会、それと敬老会は、例年は9月ですけれども、今年は農村環境改善センターの耐震補強工事の関係で日程を変更するつもりでおります。

主な行事はこの2つですが、その他としてさしこ教室や、伝統芸能の継承ということでお祭りに子どもたちを参加させております。

それと、6月に害虫防除とありますが、昨年、一昨年、アメシロが異常発生しまして、役員と農家の方々からお手伝い頂きましたが、これが非常に大変な作業でありました。

市の広報などで見ますと旧市街地を見ますとアメシロの防除なんかは自治会の役員なんか先導して、ここをやってください、次の家には防除が来るので窓を閉めてくださいよ、とふれ回ったりするみたいです。

しかし、こちらの方では道具は貸し出しますが、あとは自分たちでやってくださいというようなのが、酒田市と合併になってあるときは酒田市、ある時は旧三町という形になっているところ、納得がないところがあると自治会は考えております。

▶長谷部会長

いまの意見の中で、旧酒田市と旧三町の対応の違いというのが出ましたけれども、これについて執行部が持っている意見とか、聞いた情報などはありますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

アメシロの消毒について違いがあるのは、いわゆる市街地と酒田市の旧公民館地区プラス総合支所の地域が違うという事です。

シルバー人材センターに委託をして消毒をしているのは市街地のみという事で、支所区域だけでなく、周りの旧公民館地区についても機械や薬剤を出して、地元で消毒してもらおうというやり方になっております。

▶長谷部（信）委員

確かに道具は貸しますよ、薬剤は提供しますよという事ですけれども、立ち木がある程度の高さまでであれば良いですが、大きくなった立ち木に、そういう機材で個人での散布は無理です。

そのために農家さんが持っていて、動力が付いている、それこそ10mも飛ばすようなやつ、そういうもの何台かですと飛鳥地内をやるのですけれども、これは自分たちでやる訳です。

旧市街地はお願いすればシルバーさんの方がやってくれる訳で、自治会役員は実働しないわけです。

ここやってください、ここやらなくていいところですよ。

この違いですよ。

▶長谷部会長

いま、具体的な行動内容が見えて来ましたが、行政の基本は公正、公平を旨とする訳ですけれども、これからの一つの課題になるのかなというの思います。

では、砂越・砂越緑町コミュニティ振興会さん、お願いします。

▶後藤委員

毎年6月第一週日曜日に、砂越と砂越緑町の合同運動会、7月には世代間交流グラウンドゴルフ大会というものがありまして、これは子どもと高齢の方が一緒になってグラウンドゴルフをするものです。

それぞれ、大変好評いただいてやっております。

8月はそれぞれ、砂越と砂越緑町の夏祭りをしております。

10月には軽スポーツ&芋煮会という事で、輪投げやグラウンドゴルフ、ウォーキングといった軽スポーツと芋煮を楽しむものです。

冬に入りまして1月、賽道祭ということで伝統の行事をやっておりまして、午前中に竹細工とかそういうものを子どもたちに、ちょっと危険ですけどナイフの使い方などを教えつつ、皆さんでやっています。

冬の行事としてはほかに、冬場の運動不足解消や脳トレという事でボウリング大会やマージャン大会なども企画しております。

その他、この資料には記載しておりませんが、平成26年度の事業として、砂越駅100周年記念という事で式典を行いました。

▶長谷部会長

ありがとうございました。

5つのコミュニティ振興会のそれぞれの特色という事を踏まえて、事業紹介をしていただきました。

これについて、うちのところはこうやっているけれども、よそはこうなのだな、というものが見えて来るとお思いますので、意見交換などがあればどうぞ。

また、この資料は皆さん持ち帰る訳ですので、帰ってから也十分コミュニティの中で検討していただいて、協議材料などにしてもらえたら、非常によろしいかと思えます。

何か意見ありますか。

無いようでしたら、これも一つの年間の課題と捉えまして、続けさせていただきたいと思えます。

続きまして、9番の協議。

平成27年度平田地域経議会の開催予定について、執行部、説明願います。

(5) 報告

①平成27年度 平田地域協議会の開催予定について

▶富樫地域振興課長補佐（資料に沿って説明）

▶長谷部会長

ありがとうございます。

いまの執行部の説明の中で何かありますか。

▶阿彦委員

個人的な事で恐縮ですが、普段、勤めているものですから、日程が決定したらなるべく早めにご連絡頂けると助かります。

勤務とかを調整してもらおう都合があるものですから。

▶長谷部会長

そういう意見もございまして善処対応お願いしたいと思います。

それと、予算要求状況についてなんですけれども、我々の意見が市の

ヒアリング前に相当固めておかないと、実際の議会の議決するまでに時間が無いと内容を精査する事が出来ませんので、この予算要求については、その内容を前段の協議会の中で話題になった場合は、少し早まるという状況も生まれて来るかと思っておりますので、その点も皆さんからご理解をいただきたいと思っております。

この開催予定については、他に何かご意見ありますか。

無ければ、次の議題に移りたいと思っております。

2番の地域課題について、平田地域人口動態資料というものがございまして、これを説明いたします。

②地域課題について

▶富樫地域振興課長補佐（資料の説明）

▶長谷部会長

ありがとうございます。

人口動態、これを見ますと正直言いまして、我々は合併、平成17年やった訳ですけど、その前においては平田町議会では24から27を最大の高齢化率として抑えようとして努力はしてきたのですが、現時点では32.6%という大幅な伸びになっておりますので、これをやはりこの地域振興の中でどうやったら地域の活性化を目指す事が出来るのかその一つの参考資料になるのかなと思っておりますので、地域振興の方でも議論をしていただければありがたいなと思っております。

それからコミュニティ振興会の部分において、5つのコミュニティ振興の役員とかそういう名簿はあります。

これに対して職員の部分が載っていますので是非、振興会と職員との連携を密にして地域の発展と行動の活性化に繋げてもらえればありがたいなと思っております。

この資料はこういう形で見ていただければありがたいと思っております。

▶阿彦委員

平田地域人口動態についてですが、寿康園を除くとなっておりますが、平田地域以外の方が入っているというのもあるかとは思いますが、どこかのコミ振に入れるというのも適当ではないとは思いますが、ちなみに、これを入れてしまうと合計はどのくらいになるものでしょうか。

▶富樫地域振興課課長補佐

いま、正確な資料はありませんけれども、満床で80床ですので、そのくらいが増える事になるかと思っております。

▶阿彦委員

ほぼ65歳以上ですね。

▶富樫地域振興課課長補佐

はい。

▶岩間委員

その他ということよろしいでしょうか。

細かい事ですけども、先日、うちのコミュニティ振興会の防災部の

集まりがありまして、その中で、役員各位がどうしても危ないところが、2か所ほどあるという事で言われました。

これをどこに持ち込んだらいいかわからないという事で、私が、近々地域協議会がありますよと言ったところ、そこで一度喋ってくれないかとの事でしたので。

と、申しますのは旧高畑中学校から降りて来て旧道との十字路ありますよね。

そこに自主規制はありますけれども、白線等々は消えて来ているため、本当にあそこはめちゃくちゃ危ない。

ヒヤッとすることがかなりあるとの意見が出ました。

もう一つが、阿蘇食品さんに行くところの近く、楯山のところに橋があるのですけれど、橋の方にカーブしていくところと、阿蘇食品さんの方に行くまっすぐの道とがY字路というのか、変形Y字路というのか、そういうふうになっていますけれど、あれが、ですね、阿蘇食品さんのほうから逆に来る時に優先道路に見えるのだそうです。

優先はあくまで橋の方からカーブしてくる側なのですけれど。

そのためにヒヤッとした事がかなりあるという事で、それをなんとか各機関の方に働きかけてくれないかということでした。

私も楯山の方に行ってみて見てきたのですが、そこには自主規制のストップの看板もありませんでしたし、白線も無かったので、やはり変にしたら大きな事故が起こりうるのかなと思いますので、そういう発言があったからには速やかに関係機関に働きかけて、何か死亡事故等が起きた場合には大きな話題になると思いますので、その前に何らかの対策をよろしくお願ひしたいと思います。

まず、それはそれとして、ですね、もう一つだけお話しさせてください、時間が差し迫って申し訳ないのですけれど。

先ほどから鐵喜さんがいろいろ、里山の会等々、いろいろな声が聞こえているようですけれど、私も田沢コミ振から推薦を受けて来ている訳ですけれど、会長いわく、お前は胎蔵ロマン会を背負って来ているのだぞ、という事だと思います。

では、胎蔵ロマン会というのは何ぞやというと、意外と分かっていない方もいらっしゃるのではとないかと思います。

自主組織ですから。

我々、胎蔵ロマン会が愛する胎蔵山というのは古くから歴史がある山です。

その山、すなわち神様の山の力を借りて何とか地域おこしができないかということでロマン会が結成されて、加藤寛英さんが町長として当選した時です。

だから結構、22~23年ほどなっているのです。

そのなかで会員は30数名、地区外会員も入れれば40名ほどいるわけですが、その中で実際に動くメンバーとなると10数名ということになっていますけれど、ただ、ある人に言わせると20数年続いている団体で、実働メンバーが10数名いるという事はとんでもない事で、こんなに幸せない事はないぞという話でした。

その中で地域おこし、先ほども農商工連携という話が出ましたけれど、人から来てもらうためにはどうしたらいいかという問題があります。

結構、観光誌等々から取り上げてもらってから、宮城県あたりからマイクロバスですとか大型バスなどでも来ます。

それで来るという事はやはり、何かを落としていく。

これを受け入れる体制があるかどうか。

泊る所があれば泊って行くと思います。

そういった事で私が紹介する場合、マイクロバスで来るような場合は小林温泉を紹介していますし、それ以上大きい場合はアイアイを紹介しています。

そういった形で、どんどん引き受けて行きたいと思いますので、合間に胎蔵口マン会の話があるかも知れませんが、不快に思わないで頂いてですね、地域に十分貢献しているのだという形でとっていただきたいと思います。

それで、確か22～23年前は賽銭が3,000～4,000円でしたが、いま、神社の総会資料を見ますと50,000円です。

ということは、だいたいいっぱい入れても100円か200円ですので、それだけ人が来ているという事です。

また、あの山は冬山なんかも初心者コースのトレールの楽しみもありますし、冬山登山して、テントを張って、そういう形の上級者的な、プロ級というのかな、そういう方々が好む山なのかなというところもありますし、ですから意外と経ヶ蔵山とは上手く棲み分けをしながら、リンクしていけるのかなというところもありますし、これからもたびたび出るとは思いますが、皆様のご理解を賜りながらいければありがたいと思います。

また、併せまして、今までも材料費等々、市の当局の方から頂いております。

看板から、手すりから、いろんな事、格安で我々が施工しているところでもありますので、大工から左官屋から電気屋から皆おりますのでうちのメンバーには。

結構それなりに、多目的水場なんかも整備なっておりますし、これからも着々と整備を進めて、登山客の安全に気を付けたいと思いますので、そちらも併せて、よろしく願います。

そんなわけでひとつ、手前勝手な話ですけれどもどうぞよろしくお願いいたします。

▶長谷部会長

ありがとうございます。

いただいた意見については、執行部の方で控えをしておいていただきたい。

今の課題に挙がって来る可能性は十分にあると思います。

それはなぜかと言いますと、旧平田町内における集落なんぼ、支所長、30なんぼでしたか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

39です。

▶長谷部会長

39、その集落の中に全部、伝承、文化、歴史というものが存在している訳で、その継承というものが、少子化と高齢化によって、辛い、先の見通しがつかないという環境がだいぶ出て来ていると思います。

いまのような問題も含めて、これをどのような形で継承、文化として伝えることが我々の責務として出来るのかどうか、これも大きな課題になるとは思いますので、是非、執行部の方からも前向きな議論の対象にして

いただきたいというふうに思います。
ほかに何か意見はありますか。

▶岩間委員

看板の件だけ、市の方の意見をお聞きしたいのですが。
対応を早急に、例えば自主規制の看板とか、2か所ほど危ないところ
があると言われましたので、それだけ議長、確認してください。

▶長谷部会長

はい、今の交通規制、自主規制については執行部、地域と現場を検証
して。

自主規制というのは、これはあまり問題にならず出来ますので、ただ
それは自主規制だからといって守らないというのでは意味が無いので、
これはその地域の方々から、自分たちの提案で自分たちの行動でそれを
作る事が出来たという認識に立って、是非守って頂きたい。

私の立場からもそういうお願いをしたいと思います。

▶岩間委員

先ほども申し上げましたが、白線も消えていますし、自主規制の看板
は目立たないのです、普通の強制看板であれば目立ちますが。

自主規制はあるのですけれど本当に見落とします、あれでは。

ですから、それも含めて何かどこかに働きかけをお願いしたいと思
うのです。

▶長谷部会長

支所長、その事については私が答えましょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

いずれにしても、現場を見てご相談をさせていただきたいと思います。

▶佐藤建設産業課長

私もいますぐには地理的に先ほどお話しに出た場所が分からないので
すが、市道という事ですので場所等を確認させていただいて、土木課に
なりますか、白線消えていると言うあたりについては、そのへんに働き
かけたいと思います。

▶長谷部会長

参考までに申し上げますけれども、市町村道、県道、国道であっても
道路交通法に合致した規制をかけるのは、これは県の公安委員会です。

それを実行するためには公安委員会に申請を出す。

その窓口は警察署にあります。

これは規制係というところで担当していますので、是非行政も同一行
動にして、その現場検証をまず、最初にやって頂きたい。

それが一番の効果のある方法で、これは違反しますと道交法違反とい
う事でペナルティを受けますので、そのへんは覚悟の上でやって頂か
ないといけませんので、それを理解していただきたい。

▶岩間委員

かなりの人が口を揃えて言っている訳ですから、かなり「ヒヤリ」が

ある箇所なのです。

なにか手立てをする必要があるのと思いますので言いました。

▶長谷部会長

はい。

▶長谷部(信)委員

よろしいでしょうか、初めて出席したものですから、分からないなりに皆さんのお話を聞かせてもらいまして、そこで協議会の在り方というものが少しわかったような気がしますけれども、そのなかで自分が不思議に思ったのは、平成26年度市長報告会の内容ですけれども各項目で、現状、提案というものが書かれていますけれども、それに対しての返答が何一つ書かれていない。

現状、提案があれば、何かしらの返事があるものだと思うのですが、ここに何も書いていないのを不思議に思うのは私だけなのでしょうか。

こういうものであれば、協議会などいらぬのではないかと。

ちょっと飛躍しますけれども。

それで、私の提案ですけれども、次回予定している協議会までに、いままで提案されたもの、24年度、25年度、年を跨いでいるものもあるかも知れませんが、いくら提案してもモノになるのかならないのか分かりませんが、執行部にお願いしたいのはどのようなものが提案されているのか知りたい。

それで、先ほど話に出た資料にもありましたけれども、26年4月、7月、10月・・・と年四回ほど協議会やっていますけれど、年度末に市長に一括で求めて、ずいぶん、何というか、かったるいなと私は思うのですよ。

その間、年四回、3月に報告して、それではお答えがあるかと思えば何も書かれていない。

こういう協議会で良いのかな、と私自身思うのですけれど。

▶長谷部会長

じゃ、執行部。

どうそれを捉えますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

はい、おっしゃる通りだと思います。

一年の活動のまとめとして、それはそれで良いのだろうと思いますけれども、時期的に予算が決まっている段階になってしまいますので、その次の年度の予算要求時に反映させるしか方法が無いというものも当然出て来る訳です。

それについては、ここの支所だけの問題ではないので、3つの支所で相談をしながら、もっと早く、返事を貰うというのも一つある訳ですけれども、それの他に時期的なものも検討した方が良いのか、次の年の予算要求にしてもらえないのかということも、一つ検討させていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

▶長谷部会長

はい、執行部の答弁でよろしいですか。

▶長谷部(信)委員

次の年度に絡むものもあれば、もう少し早く検討貰うものも当然出て来るでしょう。

それはそれで良いのですけれども、これの報告の内容がこういうもので、現状提案だけで、もう一つ、(3)として必要じゃないのかという事です。

これが抜けているのでは、資料として私たち委員に出されても、ただ見るだけであって、その後どうなったのかというのは何も無い訳ですから、そこまで突っ込んでこの協議会というものは進めて行かないと、いくらやっても評価が現れないのではないかというのが私の意見です。

▶佐藤(鐵)委員

今の話は、それはそれで良いのですけれど、26年度の市長への報告の中に2の(2)提案とありますけれど、私の方に関わる事に関して言えば、ちゃんと予算が付けられているということで、全くゼロ回答では無いのだという意味で私にしてみれば、ですよ、そう思います。

▶長谷部(信)委員

それが分かるような形で。

これはあくまで年間のまとめという形で、大きいあれだと思ってしまうのですが、例えば大規模な予算措置を伴わないような、小さい事もあると思うのですが、その都度、こういうふうに提案してもらったものはこちらになりました、あるいはここまで行っています、という報告もしていただければ、ダメなものはダメでしょうがないとして、良いのじゃないかと思えます。

▶富樫地域振興課長補佐

3月の時に現場にいたのは私だけなものですから、ちょっと報告させていただくと、各支所から地域課題について、うちの方では6項目ほど挙げて会長から説明を市長の方にして、市長からそういう課題がある問う事を、一つは提案を含めて認識していただいて、先ほど言ったように予算化出来るもの、出来ないもの、何年も提案している物については、やっぱり優先順位の中で、予算化がなされていないものもあろうかと思えます。

ただ、そういう要望というか提案をして、し続ける事で、今度はこの予算を、という部分で、ですね、出てこようかというふうに思っております。

なお、口頭での報告、三支所の報告と、市長がそういう提案についての感想というかですね、正味、報告会が一時間程度なものですから、提案30分、あとは懇談が30分くらいの会ですて、明確な答えが出てこないという部分もございます。

なお、中には先ほど言いましたように、旧公民館の土地の無償については検討します、というふうに頂いている物も、中にはありますので、先ほど言われた、何年間かの提案したその内容については、資料を次回準備させていただきたいと思えます。

▶長谷部会長

という、課長補佐の答弁もあります。

だいたい皆さんの意見は出尽くしたのかな、と思いますけれども、ここで企画振興部地域振興調整監という方がお見えですので、今までの経緯についてどんな意見をお持ちですか。

もしあったら、お願いしたいと思います。

▶永田企画振興部地域振興調整監

私も地域協議会ですね、10年前は合併協議会におりまして、その時に地域協議会を立ち上げた訳ですけども、実際こういった形で参加させていただくのは初めてでございます、今日頂いた意見いろいろ、確か地域協議会の中でご要望等がございます、急ぐものはすぐ担当課の方に支所長の方を通してご連絡いただきまして、対応したり、回答させていただいたりしていたと思いますし、また、市長報告会に提案されております内容も、未来トーク等を含めて、個別の地域の中の要望事項から上がっているものが殆どだと思いますので、そういった中では全て回答させていただいていたと思いますので、ちょっとこの報告会の性格がよく分からないものですから、回答は基本的に要望いただければ、必ず回答を、それぞれの課で連絡をして回答している事がありますので、そういった部分を含めてもう一度ちょっと、精査をさせていただいて、また7月の際にご報告をさせていただくような形で、ちょっと整理をさせていただきたいと思います。

全く回答が無いという訳では無くて、ですね、多分別の形で回答が出ているものも多いかと思っておりますので、そういった形も含めて、ですね、このままでは全くおっしゃる通り、言いつばなし全然返事が無いというような形だと思いますので、もう一度この辺もちょっと整理をさせていただきまして、次回には報告出来るというような形に準備をさせていただきたいと思っております。

また、いろいろなご意見、ご要望があれば、今のような形で頂きまして、急ぐものはすぐ繋ぎまして、対応出来るものは対応させていただく、あるいはなかなか難しいものはその旨をお答えさせていただくような形で今後も進めさせていただきたいと思っておりますので、一つよろしく願いしたいと思います。

▶長谷部会長

ただいま調整監の方からそういうご意見がございました。

ただ、我々が考えているのは行政と我々住民は相対して、対抗するものではない、というのが基本にありますので、お互いの意見の調整をしてより良い結果を生むための組織であり、行政である。

この辺を基本的に踏まえて、これからも大いに意見交換をさせてもらって、地域住民のためになる行動に移って行きたいと思っております。

他に無ければだいぶ時間も進んでおりますので、今日の会合はこれで締めたいと思っておりますが、皆さん意見ございませんか。

▶富樫地域振興課長補佐

その他で、最後の方にイベント等の資料を載せておりますけれども、35ページの方の5月24日に、先ほども説明ございました、首都圏ふるさと平田会の総会が東京の上野、東天紅というところでおこなわれる予定であります。

それで、地域の方から三名ほど、地域づくり予算の方で予算を持っておりますので、地域協議会の方から一名、自治会長会の方から一名、あ

と、コミ振連の方から一名の参加をお願いしたいと。

今年は、ですね。

そういうことで、会長の方に文書は送らせていただきますけれども、今日、ここでそういう事で5月24日、行ける方をぜひ選出していただければ有難いなと思っております。

▶長谷部会長

今の提案に対して、皆さんの方から我こそはという方がいましたら、是非、手を挙げていただきたい。

まあ、なかなか、はいというのも勇気のいる事なのでしょうけれども、ここでピンとこないとすれば、地域協議会と副会長も含め、執行部も含め、改めて検討させていただきます。

その結果については皆さま方から協調をお願いしたいと思います。

他にございませんか。

それでは今日の会議を締めたいと思いますから、閉会の挨拶を副会長の石黒さんからお願いします。

(8) 閉会

▶石黒由香副会長

それでは、これを持ちまして平成27年度第一回平田地域協議会を閉会いたします。

長い間おつかれさまでした

ご協力ありがとうございました

会議録署名委員



